



寒風を突いて、落書き消しをしました！



11月17日(土)朝9時に区役所玄関ホールに集合。

麻生警察、王禅寺処理センター、東京電力、建設センター、そしてペDESTリアンデッキの修復工事を請け負う福田組、一般参加の市民の方、市民の会のメンバーと区役所地域振興課等々、総勢50人近くの方が参加されました。

溶剤や軍手、ビニール手袋、拭き取り用のウエスにナイロンタワシ等の七つ道具をかごに詰め込み、4班に分かれてそれぞれの地域を目指して出勤。9時半からおよそ2時間の予定で開始しました。真っ赤なポストにシルバーのスプレーで書かれた落書きには、ホトホト手を焼きました。ポストのお化粧が落書きと共に剥がれて、痛々しい状態に。後日、ペンキを塗って貰います。もう、こんないたずらは止めにしましょう！

「書いては消し、消しては書く」そんな繰り返しでも確実に落書きの量が減少しています。落書きを無くしてきれいな街にしよう!との落書き消し隊の一念と市民の意志向上が少しずつ実を結びつつあるのかなと感じられました。

「継続は力なり」の言葉通り、根気強く諦めずに、そしてより多くの市民の方々に呼びかけて続けていきたいです。



フォーラムを開催しました。

落書き消しフォーラム



12月8日(土)14時より、やまゆりにて「きれいな街に犯罪はない」とのテーマで、落書き消しフォーラムを開催。約40名の方々が参加されました。



(落書き消し写真の展示パネル)

基調講演をされた小宮信夫立正大学教授によると、「犯罪が起こりやすい所は、入りやすく、見えにくい所で、落書きやゴミのポイ捨てがされやすい。」落書きを放置してある場所は心理的にも誰も管理していないと思われ、次第に大きな犯罪を誘発し易いそうです。

“落書き消し隊”が発足して未だ2年余ですが、確かに新百合ヶ丘駅周辺の落書きが減少しています。落書き消しの作業は「努力と忍耐」の繰り返しですが、それが確実に安心のまちづくりに役立っていることが、再確認された今回のフォーラムでした。

パネラーの一人、下北沢の吉田さんは、ニューヨークのジュリアー二前市長も街の治安のために、先ず『徹底した落書き消し』を実行した結果、数年後には凶悪犯罪が激減したとの事例を紹介。落書き消しは市民で出来る「防犯活動」だから「消してもまた書かれる」と諦めずに、「書かれたら何度でも消そう」と結ばれました。

地域通貨フォーラム



秋晴れの11月23日13時半から、麻生区役所にて、第一回地域通貨フォーラム

『麻生でつなげよう!! いいこと・いいもの・いいお店』とのテーマで開催されました。

地域通貨ってなに?

「ボランティアやお手伝いを気軽にやろう、やって貰おう」それらを通して地域のコミュニティを広げていきたい。こうした社会貢献促進のためのポイントカード?それが「地域通貨」です。

つまり、地域通貨は対価制ではなく、お疲れさまの心を託しているとのことでした。

嵯峨生馬氏(NPO法人アースデーマネー代表)による基調講演では、使い方の事例を各地の映像を通して講演して頂きました。

都筑区、川崎区、多摩区から参加された3名のパネリストからは、それぞれ自区の地域通貨の現状が紹介されました。

麻生まちづくり市民の会でも2008年度のテスト的な運用を目指して調査、研究、準備を進めていく予定です。

多くの市民の参加をお待ちしています。



市民活動支援部会



市民活動支援相談窓口小委員会

これまでの小委員会の活動成果である市民活動団体の資料・情報をやまゆりに提供し、「相談窓口」がはじまりました。(毎週木曜 14 時～17 時)この情報の更新については引き続き小委員会が担当します。

現在は、次なる活動テーマ「人材紹介リスト」の作成に着手しています。麻生区の各種講師、演芸者の情報を少しでも多く集め、紹介できることをめざしています。



講座企画運営小委員会

今年度講座「地域デビューへの招待状」3 回シリーズは参加団体の協力を得て無事終了しました。反省点や成果を整理し、報告書を作成します。

また、来年度企画案としては、引き続き「地域デビューへの招待状」の実施と、さらに市民活動を運営していく上で必要なノウハウを提供する講座を検討しています。

まちづくり推進部会

「里山から庭先へ、ヤマユリの植栽の普及・促進」の企画案、承認へ

今年度新企画として提案されていた“ヤマユリ”の企画が 11 月企画審査部会、および運営委員会の承認を得ました。

地域まちづくり支援小委員会

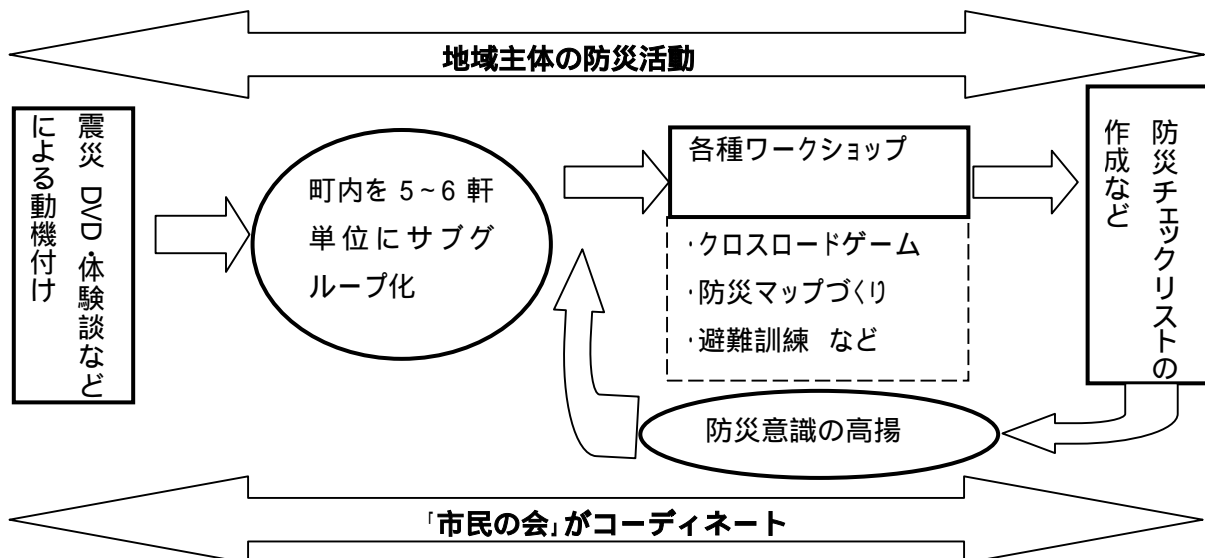
新万福寺町内会のご協力を得て、町内会の防災意識を高める具体策について取り組んでいます。

まちづくり学校運営小委員会

第 5 回講座 12 月 1 日(土)

今回は、講座の締めくくりとして、講座に対する感想や要望と、実際に講座で得た知識や経験を元に、参加者自らが住む地域で何ができるかをワークショップ形式で話し合いました。また、今後のまちづくり学校に対する要望も、さまざまな形で出されました。次回からは、参加者も企画に加わって、更に具体的に検討してゆきます。

《地域まちづくり支援の流れ》



『やまゆり号』が3ヶ月間走ります。

～乗合タクシー本格運行めざして～

実験期間：平成 19 年 12 月 1 日（土）～
平成 20 年 2 月 29 日（金）<予定>
（日曜日・年末年始運休）
運行時間：9：17～19：17（概ね 25 分毎に運行）
運賃：大人 200 円/子ども 100 円
運行会社：コスモ交通株式会社

問合せ先

麻生区コミュニティバス協議会 電話：966-4570

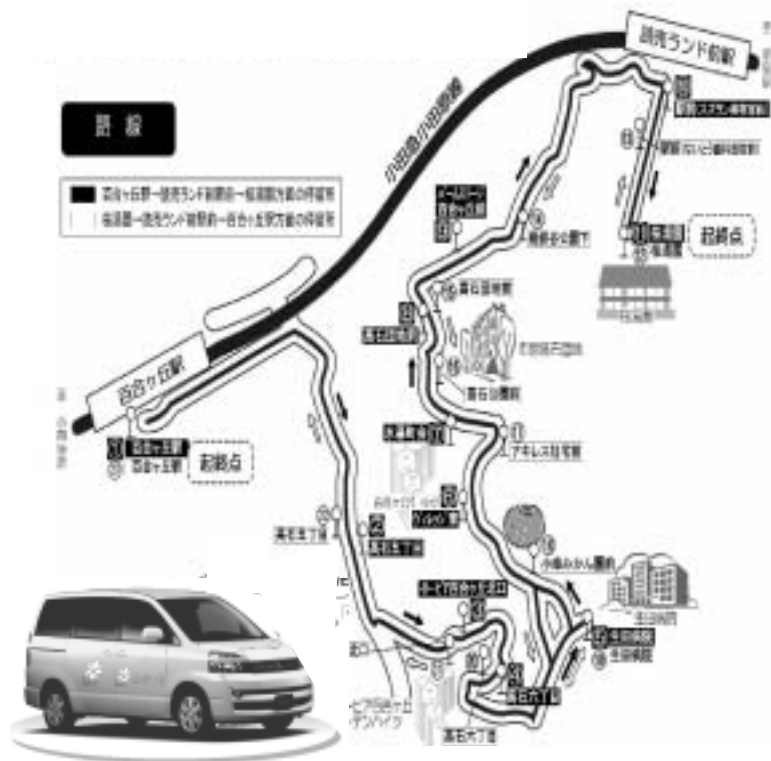
川崎市まちづくり局交通計画課 電話：200-2034

この活動は麻生まちづくり会議当時に
スタートし、1期市民の会に引き継がれ、
平成 17 年に独立しました。

つながったよね！心の輪

～「あさお福祉まつり」開催～

11 月 18 日（日）晩秋の澄み渡った青空の下、「来て！見て！つなごう心の輪」をテーマに第 18 回「あさお福祉まつり」が開催されました。参加は 85 団体と今年も大変な賑わいでした。演芸コーナーの舞台劇『シンドバッドの大冒険』今年度から同日開催の健康チェックコーナーでも順番を待つ人の列が絶えませんでした。他にも、献血に協力する人、にぎわいコーナーで買い物をする人、盲導犬と遊ぶ人……。心の輪は、しっかりとつながっていました。



「多摩麻生観光ガイドの会」誕生

11 月 3 日「多摩・麻生観光ガイドの会」が発足しました。ガイドは総勢 8 名で、メンバーの多くは麻生市民自主学級の「麻生の歴史に親しもう」で過去 3 年間地域の歴史を学んだ方たちです。当面は 2 ヶ月に 1 回の割合でガイドを予定しているとのこと。日程については、タウン紙、市政だより麻生区版等で広報されます。麻生を知りたいという区民の関心を集めることでしょう。



今後の予定（どなたでも傍聴できます。）

運営委員会：1月21日（月）18時30分より

市民種別支援会：1月9日（水）18時より

まちづくり推進会：1月7日（月）17時より

編集後記 麻生区の人口はいよいよ 16 万人を超えました。新百合ヶ丘駅もバリアフリー化がすすんでいます。みな、快適な生活を求めています。ある地域では、「おあしす運動」をすすめているそうです。「おはよう」「ありがとう」「しつれい」「すみません」ちょっとした気遣いの言葉です。まわりの人たちのことも少し気にかけることができれば、みんなが気持ちよく暮らせますね。麻生区に夢を託す年の初めです。（M.O.）